

日系静脈産業メジャールの育成・海外展開促進事業

効果

- ◆廃棄物処理・リサイクルシステム・技術がアジアに普及
- ▲アジアにおける環境負荷低減
- ◆静脈産業のアジア展開
- ▲我が国経済の活性化

先行グループ



静脈
メジャー

海外展開
メジャー

次世代グループ



次世代の
海外展開

基盤戦略
14百万円

○関係者が連携して、アジアを視野に入れた日系静脈産業のより効果的な育成・展開のため
の戦略を策定

我が国の廃棄物処理・リサイクルシステムをパッケージとして海外展開 190百万円

○大臣合意など政府レベルの基本的枠組みのある国に対する先行グループの海外展開促進

- ①具体的な海外事業展開を想定した実現可能性調査
- ②現地での海外展開の枠組み構築のため
の関係者合同ワークショップ
- ③現地静脈産業の円滑運営のため関係者
への研修

情報基盤の整備 49百万円

- ①海外展開可能性国の情報収集・分析
(国内に海外展開情報提供)
- ②我が国静脈産業技術の海外情報発信
(アジア諸国の興味醸成)

次世代静脈産業メジャールの育成 347百万円

1. 未利用資源の有効利用技術を有する民間企業が海外展開していただけるよう、ビジネスモデルの確立を支援

- ①レアメタルリサイクル→300百万円を22年度補正予算計上
- ②高付加価値・低炭素型の鉄リサイクル
- ③ペットボトルの再ボトル化 等

2. 高リサイクルに取り組む産廃業者、排出事業者を適正に評価する手法の確立等を通じた静脈産業の育成支援

- ①事業者の差別化に向けた適正評価手法の確立とその実施
- ②産廃業者と排出事業者の協働に向けた情報の収集・分析

静脈産業の海外展開に資する技術開発
※530百万円を環境研究総合推進費にて計上

○途上国でも利用可能な、廃棄物処理・リサイクルシステムの低コスト化・高度化等の技術の開発

静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援対象事業 (平成23年度採択分)

インド

グジャラート州における携帯電話を中心とする小型家電等リサイクル事業



パッチ油化装置

タイ

バンコク特別市周辺発生廃棄物の集中中間処理設備プロジェクト

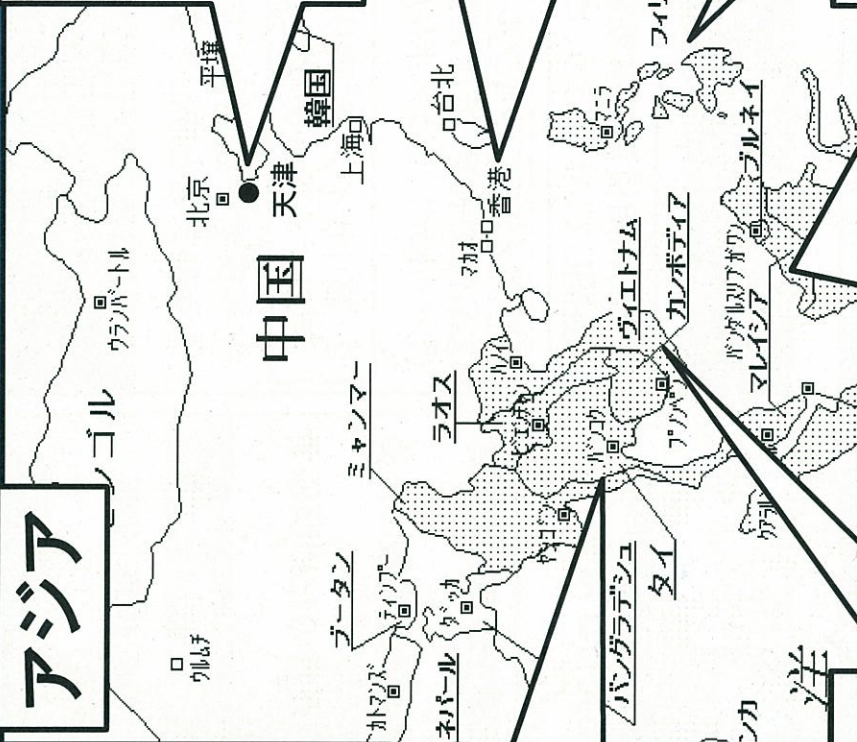


ベトナム国

再燃料(RPF)製造販売事業並びにRPF製造システム販売事業



アジア



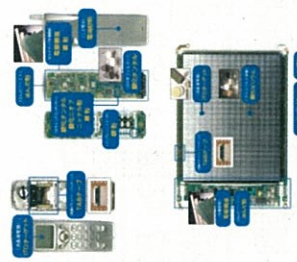
中国

天津市における廃プラスチックのマテリアルリサイクル事業



中国

香港における電子スクラップからの銅・貴金属リサイクル前処理事業



フィリピン

イサベラ州における固形廃棄物の広域収集・エネルギー回収・衛生処理事業



メタン発酵・発電

マレーシア

クアラルンプール首都圏における都市ごみによる再生可能エネルギー発電プラント建設・運営事業



WTEプラント

アジア各国への3R国家戦略策定・法制度整備等の 支援、二国間政策対話

アジア

中国

- ・2007年より日中廃棄物・リサイクル政策対話を実施
- ・2009年1月から循環経済促進法を施行
- ・2009年6月、日中環境大臣間で、川崎-瀋陽の「環境にやさしい都市」協力に関する覚書締結

バングラデシュ

- ・2006年から、3R国家戦略策定支援を実施
- ・2010年12月に国家戦略が策定

タイ

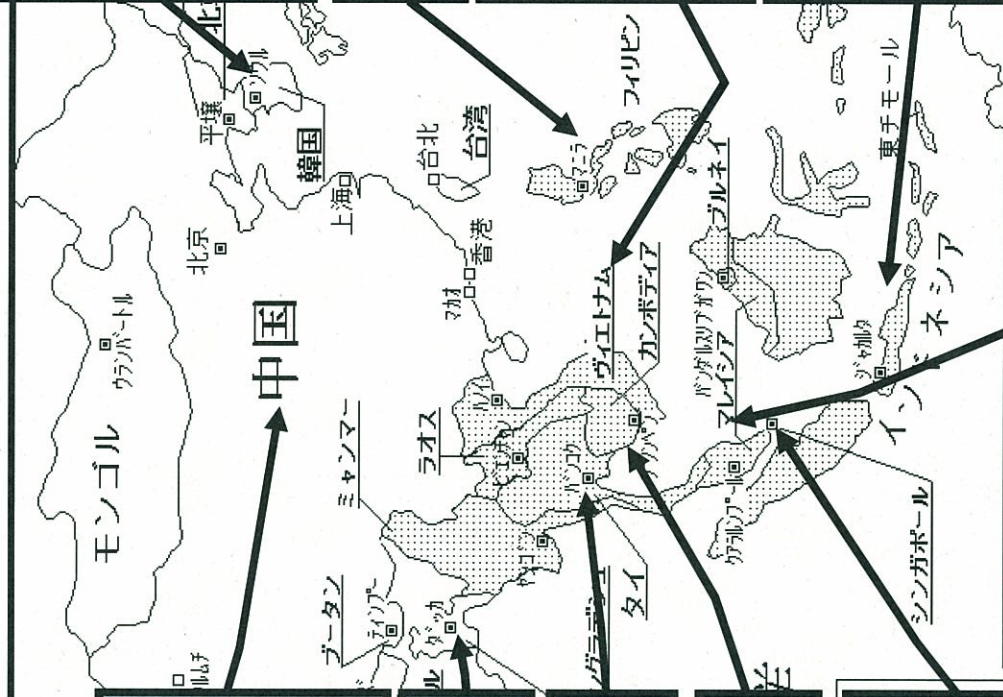
- ・2005年から、3R国家戦略策定支援を実施

カンボジア

- ・2006年から、3R国家戦略策定支援を実施

シンガポール

- ・2006年7月以降、二国間政策対話を実施
- ・2010年7月大谷政務官とシンガポール環境庁CEO間でLOI(基本合意書)署名



韓国

- ・2008年1月から電気電子廃棄物や使用済自動車のリサイクル法を施行
- ・2008年に資源リサイクル基本計画を策定
- ・2006年より日韓廃棄物・リサイクル政策対話を実施

フィリピン

- ・2005年から、3R国家戦略策定支援を実施

ベトナム

- ・2005年から、3R国家戦略策定支援を実施
- ・2009年12月に国家戦略が策定
- ・2011年7月、政策立案支援協力に向けた調査団派遣

インドネシア

- ・2005年から、3R国家戦略策定支援を実施
- ・3R国家戦略最終案が政府承認手続き中
- ・2008年5月 廃棄物管理法成立
- ・2010年10月24日 両国環境大臣間で「固形廃棄物、有害・毒性廃棄物管理分野における協力覚書(MOC)」を締結

マレーシア

- ・2010年から、食品廃棄物管理に関する戦略計画策定支援を実施

